

## 第5回西日本スキー技術選手権大会開催要項

- 【主催】 S. A. J. 西日本ブロック協議会
- 【後援】 西日本スキー指導員会
- 【主管】 S. A. J. 西日本ブロック協議会 教育部会
- 【会期】 2022年2月5日（土）
- 【会場】 鳥取県「だいせんホワイトリゾート」
- 【現地本部】 「大山 チロル&白樺」 鳥取県西伯郡大山町大山39-2
- 【日程】 2月4日（金） 11:00 役員集合（だいせんホワイトリゾート）  
2月5日（土） 8:30～9:00 受付（ロッジ大山）（各県代表者のみ）  
8:30～ コートオープン  
9:00 TCミーティング（ロッジ大山）（各県代表者のみ）  
10:00～ 競技開始  
16:00～ 競技終了（予定）  
17:00～ 成績発表（ロッジ大山）（予定）  
（各県代表者のみ）表彰式なし  
2月6日（日） ブロック余剰枠調整会議（WEB 予定） #詳細は会場にて
- 【競技種目】 ■ 1. 急斜面・ナチュラル・小回り 2. 中急斜面・ナチュラル・小回り  
3. 総合斜面・総合滑降
- 【部門】 レギュラーの部 満18歳以上、年齢制限なし（2021年4月1日現在）  
ジュニアの部① 満10歳以上12歳未満（2021年4月1日現在）  
ジュニアの部② 満12歳以上15歳未満（2021年4月1日現在）  
ジュニアの部③ 満15歳以上18歳未満（2021年4月1日現在）  
シニアの部 満50歳以上（2021年4月1日現在）  
※全日本スキー技術選手権大会出場希望者はレギュラーの部に申し込むこと。
- 【参加資格】 1 当該年度のSAJ会員登録を行なっている者。  
2 「SAJスキー補償制度」及び、スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険に加入済みの者。  
3 1級以上の認定を受けており、加盟団体長の推薦を受けた者。  
4 部の併用申し込みは認めない。
- 【順位の決定】 1 各種目の採点は、5審5採用とする。  
2 総合成績の順位は、全種目の合計得点により決定する。

- 【表彰】
- 1 総合成績により、レギュラー部は、男子 10 位、女子 6 位まで、その他の部は、男子 6 位、女子 3 位までを表彰する。
  - 2 種目別は男女とも 3 位までを表彰する
- 【申込方法】
- 1 参加者は所定の申込用紙(西教様式 5(18 版))に必要事項を記入のうえ、参加料を添え所属連盟宛申込む。
  - 2 参加者が 18 歳未満の場合は、必ず保護者の承諾を得て、申込書の保護者承諾欄に記名捺印をすること。  
各県スキー連盟は、保護者承諾を必ず確認し、推薦を行うこと。
  - 3 各県スキー連盟は、申込用紙を取りまとめ、期日までに西教様式 5, 11 を郵送、データベース(西教様式 11(19 版))を電子データにて下記申込先宛提出する。
- 【申込・問合せ先】
- 〒740-0027 山口県岩国市中津町二丁目 23-1-201 090-7377-0902  
池田 章二 宛
- 【開催可否の決定】
- 積雪状況や特定感染症の感染状況などにより開催を中止する場合は、基本的に大会前週の日曜日正午に決定し、当日中に各加盟団体の担当者に連絡するものとする。ただし、状況の急変により、急遽、開催を中止することもある。
- 【申込締切】
- 2022年1月7日(金) 必着
- 【参加料】
- レギュラーの部、シニアの部2, 000円  
ジュニアの部1, 000円
- 【振込先】
- 「西日本教育部送付先一覧」による
- 【その他】
- 1 積雪等の状況により、競技種目を変更することもある。
  - 2 S A J 公式用品を使用のこと。
  - 3 万一、競技中に事故が発生した場合においても、応急処置は行いが総て本人の責任により処理する。
  - 4 第59回全日本スキー技術選手権大会への出場者は、本大会のレギュラーの部に出場した者をもって構成する。
  - 5 第59回全日本スキー技術選手権大会へのブロック余剰枠出場者は、本大会のレギュラーの部に出場した者をもって決定する。大会中止の場合は、第58回全日本スキー技術選手権大会の成績により決定する。
  - 6 大会が中止の際は、理由の如何に問わず参加料の返金を行わない。
  - 7 参加者は少しでも体調が悪い場合は参加を見合わせる。主催者が当該参加者を体調不良と判断した場合は、途中退席を指示する可能性がある。参加者は別添の「西日本ブロック遵守事項および体調チェックシート」および「体調チェック報告シート別紙1」に必要事項を記入のうえ、受付時に提出すること。

## 競技規則

# 西日本スキー技術選手権大会 競技規則

- 1 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。大会運営上、20人～30人集合しだい随時コールを開始する。
- 2 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち出発のための準備をしなければならない。
- 3 競技者はスタート審判の合図により出発しなければならない。スタート合図はフラッグで行い、視界の悪いときはトランシーバーを利用する。  
直ちに出发しない場合は該当種目を棄権とする。
- 4 競技コースの終点には停止ゾーンを設ける。ゾーンは4本のポールにより設定し、その区切りは色インク等により明示する。
- 5 競技は示された停止ゾーン内で安全のために停止するものとする。ゴールは、両足スキーで終了する。
- 6 競技中止について。大転倒等で中止するときは、ストック等の×印で連絡する。
- 7 ヘルメットは安全上必ず着用する。ウェアは、ワンピースは禁止する。その他、公式用具を使用する事。
- 8 競技種目が必要とする斜面については、その条件を満たせる設定を行う。
- 9 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 10 審判は5審5採用によって行う。
- 11 競技斜面のインスペクション・整備については競技本部の指示に従い行う。  
選手・監督・コーチのみとする。ビブ・証明書を着用の事。
- 12 抗議は、監督・コーチ・当該選手本人としゴール後ただちに審判長に申し出ること。  
監督1名・コーチ3名以内とし、受付時に届け出をして監督・コーチ証を受け取り、大会期間中着用する。
- 13 競技会場の積雪状況により競技コート・種目変更の可能性も有り得る。